



相



CONTENTS

○新入職員インタビュー	p2
●院内開催の研修について	p3
○救急救命士再教育実習が行われました	p4
●外科・消化器外科からのお知らせ	p4
○フロリール調布	p5

ご紹介します！



新入職員インタビュー

新入職員

事務部長代行 風間 晃さん



①ご出身は？

山梨県富士吉田市です。富士山のふもとで風光明媚なところで、みずがおいしく、「吉田のうどん(硬い麺)」が有名です。

②病院の事務を目指した理由は？

公務員採用試験を受け厚生労働省に採用となりました。国立病院で経験を積む中で、病院を裏から支える事務所にやりがいを感じました。

③最近のマイブームは何ですか？

家族の「ちこ(トイプードル)」と散歩や一緒に寝ることです。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

患者様が安全・安心した医療を受けられるような環境をつくりたいと思います。

新入職員

薬剤師 由比 理紗子さん



①ご出身は？

福岡県です。街中でも自然豊かな場所が多く、何より食べ物がとてもおいしいところです。

②薬剤師を目指した理由は？

親戚に医療職が多く、その影響で薬剤師を目指しました。

③最近のマイブームは何ですか？

ドラム演奏です。気分がすっきりしますし、とても楽しいです。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

薬剤師としてまだ未熟ですが、患者さんが安心して過ごせるように精一杯努めます。よろしくお願ひいたします。

新入職員

看護師 城戸 智巳さん



①ご出身は？

東京都昭島市です。都心からも近く、自然も豊かで住みやすい街です。昭和記念公園や航空科学博物館などの観光スポットや、昭島駅周辺にはショッピングモールや多くの飲食店もあります。水が美味しい、人々も温かいです。是非訪れてみてください。

②看護師を目指した理由は？

運送業界で働いていましたが、看護師だった母が病気で退院後、仕事復帰する姿に感動したことがきっかけです。私は母から受け継いだ笑顔と信頼関係を築く力を活かして、患者さんや家族に寄り添う看護師になりたいです。

③最近のマイブームは何ですか？

3年前に大型自動二輪の免許を取得して以来、休みの日はツーリングをしています。風を感じながら走ると気分が爽快で、最近では200km以上走ることもあります。出会った人々と話したり、美味しいご当地グルメを食べたりするのも楽しめます。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

入院されていると色々な不安があるかもしれません。一緒に一つずつ解決していきましょう。どうぞよろしくお願ひいたします。

新入職員

医師事務 竹内 由紀さん



①ご出身は？

東京都大田区出身です。池上線という3両編成の電車が近くに走っています。

②医師事務を目指した理由は？

医療に関わる仕事に興味があり色々調べていく中で、目立つ訳ではないけれど重要な仕事がある事に気づき進みました。

③最近のマイブームは何ですか？

子供と一緒にミニチュアハウスを作って楽しんでいます。今はパン屋さん作りに励んでいます。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

主に外来で勤務をしています。短い時間となりますので、気持ち良く過ごせる様、微力ながらもお手伝いできればと思います。何かありましたらお声掛け下さい。

新入職員

薬剤師 田村 由貴恵さん



①ご出身は？

千葉県船橋市出身です。大きなショッピングモールなどもあり住みやすいところでした。

②薬剤師を目指した理由は？

祖母が薬の副作用で耳が聞こえなくなってしまったことがきっかけで薬剤師を志すようになりました。

③最近のマイブームは何ですか？

子供が2人いるのですが、子供たちに洋服を作つて着てもらうことです。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

患者様が安心して治療を受けられるように努めてまいります。お薬のことのご不安なことがありますたらお声かけください。

新入職員

医療相談員 大野 恵美子さん



①ご出身は？

山梨県で育ちました。富士山の近くにあります、お茶畑、たくさんのがんばり自然を堪能できる場所です。

②医療相談員(MSW)を目指した理由は？

以前は、精神科で相談援助をしていました。内科や整形疾患の合併症患者さんの援助を行うなかで、精神科だけでなく、幅広く医療と福祉を学びたく社会福祉士を目指しました。

③最近のマイブームは何ですか？

自宅で豆を挽き、コーヒーを淹れることです。色々な豆を試して、好きな味を見つけるのが楽しいです。

④患者さんへ向けて一言お願いします！

些細なことでもお気軽にご相談下さい。一緒に考えていきましょう。よろしくお願ひいたします。

新入職員インタビュー

ご紹介します！



院内開催の研修

院内開催の研修について

当看護部は、令和4年度東京都ナースプラザの看護職員定着促進事業であるアウトリーチ支援を受けています。その支援の一環として、東京都内の病院関係者を対象としたオンラインによるネットワーク研修と、院内職員を対象にしたアウトリーチ研修を開催しました。



ネットワーク研修は、東京都第11医療圏看護管理者連絡と共同開催いたしました。

日 時 令和4年12月21日 14:30~16:00

テー マ 患者・家族の想いが叶う入退院支援

講 師 調布東山病院 副院長
中村 ゆかり先生

参 加 者 47施設123名

講義内容は、ACP（アドバンスケアプランニング）をふまえた入退院支援について、いくつもの事例をまじえ具体的にお話しいただきました。

とても多くの方に参加していただき、看護職以外の方の参加もありました。当院が日頃より連携させていただいている、施設や事業所などにもお声掛けさせていただき、参加していただきました。研修後のアンケートでは、とても分かりやすくいい講義だったとの意見が大多数でした。



アウトリーチ研修は講師の深谷先生においでいただき、リアル開催しました。

日 時 令和5年3月3日
14:00~16:00

テー マ レジリエンスを高めよう！
幸福感を増やしてストレスを減らす

講 師 深谷レジリエンス研究所 レジリエンスコーチ
深谷 純子先生



参 加 者 看護職員を中心に桐光会の
多職種の参加がありました。



講義内容は、回復力であるレジリエンスを高める・引き出す、ストレスへの対処法、楽観主義を身につけるにはなど、途中グループで話し合いもまじえ、笑顔で和気あいあいと受講することができました。研修後アンケートでは、参加者全員が参考になった、とても参考になったと回答しており、これからの活力につながったようでした。

今年度2度の研修を行いました。どちらの研修も、とても満足度の高い研修になりました。研修から学んだことを、現場に自分自身に活かし、より良い看護を提供できるよう努力していきたいと考えます。

調布病院 副院長兼看護部長 長谷部 美津代

ご紹介します！



救急救命士再教育実習が行われました

急病やけがで救急車を呼ぶと医療機関まで搬送してくれます。救急車で現場へかけつけて病気やけがの重症度やどこの診療科で診てもらうのがベストかを判断し、応急処置を施し、医療機関まで搬送するのが「救急救命士」です。



重傷者に対しては胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸、AEDによる除細動を行います。大学病院等で研修し、資格を取得した救急救命士はさらに点滴や薬剤投与、気管内挿管まで行うことができ、文字通り患者さんの「救命」のために手を尽くします。

医療知識や技能を繰り返し復習することによって、スキルが向上し維持されます。東京都二次救急医療機関として、当院はこの救急救命士の再教育実習を担当しておりますが、コロナ禍のためずっと中断されていました。今回3年ぶりに、29歳の若手の救急救命士さんから57歳の隊長クラスの方まで合計6名の方が狛江消防署・調布消防署より救急救命士再教育実習に来られ、看護部・診療部・コメディカル部門が協力し合って、講義・見学・実習を行いました。どの救急救命士さんも非常に意欲的に再教育実習に取り組まれ、新たな医学的知識も吸収されました。

実習終了後に「今までに受けた病院実習の中で一番充実していた」「搬送した患者さんが入院後どういう治療を受けているのか知らなかつたので勉強になった」という感想をいただきました。今後の活躍を期待しています。



外科・消化器外科からのお知らせ

当科では、良性疾患から消化器癌、さらに外傷まで幅広く、診療を行っています。

良性疾患では、胆石症や鼠経ヘルニア（脱腸）、さらには痔核（いば痔、切れ痔等）の治療を行っております。消化器癌では胃・大腸をはじめ、肝胆膵領域まで、各種消化器癌の診療・手術も可能です。

近年は、積極的に低侵襲手術の導入も行い、胆石や鼠経ヘルニアはもとより、胃・大腸癌手術も腹腔鏡を用い、入院期間の短縮に努めています。

また、当院の特徴でもある「地域に密着した医療」を推進しております。看護師・理学療法士や地域連携室と、常に緊密に連携し、訪問診療（往診）・訪問看護とも一体となり、退院後も切れ目がないサポートも行い安心して生活できるようサポートいたしております。

スタッフ

外川 明

日本外科学会	指導医・専門医
日本消化器外科学会	指導医・専門医
日本脾臓学会	指導医
日本胆道学会	指導医
日本ヘリコバクター学会	認定医

野内 亘

日本外科学会	認定医・専門医
	東京都難病指定医

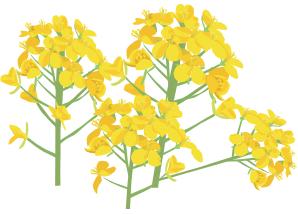


救急救命士再教育実習

外科・消化器外科

フロリール調布

「住み慣れた地域で、安心して暮らし続けていきたい。」誰もがそう思い、願い過ごされています。



人間は年を重ねると様々な疾患や認知症などの症状が出現するため、ご自宅での生活と医療は、切り離せない関係だと考えます。その生活を継続するためには地域に信頼のおける、かかりつけ医の先生がいる事が望ましいと考えます。いつでも相談ができ、ご自身の身体の状態と向き合えるので、とても心強いと思います。また、元気なお身体を維持していくためには、ご自身で身体を動かす機会を作ることも必要です。

皆さんは介護保険のサービスの中に、身体状況を把握しアドバイスが受けられるものがあることをご存じでしょうか？

フロリール調布は、医師・看護職・介護職・リハビリ・管理栄養士・相談員等の各専門職が、皆様のお身体の状態に合わせた介護サービスが提供できる介護老人保健施設です。ご自宅から通えるサービスと、ご入所して集中的にリハビリを受けて自宅への退所を目指すサービスがあります。施設には個々の特色があり、介護保険サービスと医療保険の仕組みを理解して選択する事が重要です。

当法人の特色は医療保険と介護保険の上手な使い方をサポートできる体制があり、調布病院を中心とし、介護老人保健施設と訪問看護ステーションが連携して、地域で安心して生活できる環境を支える取り組みを行っています。

かかりつけ医をお探しの場合は調布病院に、ご自宅で医療にお困りの場合は調布訪問看護ステーションに、ご自宅での介護生活に困った時はフロリール調布までご相談ください。



連絡先

- 調布病院医療連携室 042-484-2513
- 調布訪問看護ステーション 042-443-9765
- フロリール調布 042-484-2627

介護
老人保健施設
フロリール調布

